

会 議 録

会議の名称		令和８年度 大和郡山市移動等円滑化推進協議会
開催日時		令和８年７月３０日(木) １４：００～１６：００
開催場所		大和郡山市役所 交流棟 交流ホール
事務局		大和郡山市 都市建設部 まちづくり戦略課
出席者	委 員	【学 識 経 験 者】近畿大学 ※会長 兵庫県立大学 ※副会長 【高 齢 者 団 体】高友クラブ連合会 【障 害 者 団 体】自立支援協議会（しごと支援部会） 自立支援協議会（こども支援部会） 自立支援協議会（居住支援部会） 【地域コミュニティー】自治連合会 【公共交通事業者】近畿日本鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社（代理人出席） 奈良交通株式会社 【奈良県公安委員会】奈良県警察本部 郡山警察署 【関係行政機関】国土交通省近畿運輸局奈良運輸支局 奈良県 県土マネジメント部 道路マネジメント課 奈良県 郡山土木事務所 【市 職 員】福祉部 すこやか健康づくり部 産業振興部 教育部
	事務局	まちづくり戦略課
		駅周辺まちづくり推進課
欠席委員		・市社会福祉協議会 ・市総務部
議 事		１．特定事業経過報告について ２．近鉄郡山駅周辺整備事業に伴うバリアフリー整備計画について ３．意見交換、その他

議事

１．特定事業経過報告について

事務局からの説明（資料２、資料３、資料４）

２．近鉄郡山駅周辺整備事業に伴うバリアフリー整備計画について

駅周辺まちづくり推進課からの説明（資料５）

3. 意見交換、その他

(会長)

特定事業計画の方で、P 29の奈良大和郡山斑鳩線のところの現況写真の事業No. 2の実施範囲の歩道のところだが、点字ブロックが2列に入っていて規格通りにはなっていない。実際に実施したものではなくて、これから実施予定の場所で、きちんとガイドライン通りの施設になると思って良いのか。

(事務局)

P 29に掲載している事業No. 2の実施範囲については、特定事業の内容として視覚障がい者の誘導用ブロックの適宜更新という内容で、ガイドライン通りいくと恐らく2列ではなく1列になると思うが、今後の部分的な改修という形で、事業内容は想定している。

(会長)

部分的な、というのは？

(事務局)

この点字ブロックが傷んだ時は、適宜更新していただくという内容である。適宜更新なので、2列になると思う。

(会長)

今、歩道幅員はどれくらいか。見た目では結構広そう。点字ブロックは当然、視覚障がい者の方には有効だが、あまり歩行訓練では2列は想定していない。また、車椅子の人は走行しづらいということもあるので、歩道幅員が狭くて車椅子の方が点字ブロックの上を走行しづらい状況だと、やはり2列はしんどいのかなと思う。

(事務局)

歩道幅員は恐らく2mくらいだったと思うが、このような意見を協議会で頂いていることを県道管理者に伝えようと思う。

(郡山土木事務所)

なぜ2列になっているかはさだかでないが、更新時には基準にあったものに変えていこうと思っている。

(副会長)

駅周辺の整備のことで質問したい。歩行者は、2枚目の地図のグレーのところから上がってくるということか。ペデストリアンデッキというのは、中2階のところだけを指しているのか。それとも、紫色の改札口を出てエレベーターがある辺りをペデストリアンデッキと呼んでいるのか。

(駅まち)

ペDESTリアンデッキは、資料2ページの紫の部分で、プラスで中2階の青い部分を含めて、ペDESTリアンデッキになる。改札口からの乗客の動線は、紫の2階部分に出てきて、階段やエスカレーター・エレベーターで中2階に下がって、そこからエスカレーターを使って地上部分に行くことになる。エレベーターを使って地上から直通で行くことはできるが、基本的にはペDESTリアンデッキで中2階あるいは2階に行ってもらうことを想定している。

(副会長)

ペDESTリアンデッキのところは、屋根がかかっているのか。

(駅まち)

屋根は、当初の計画の中では、JR奈良駅や近鉄高の原駅のように基本的に開放型の施設として、計画している。

(副会長)

先ほど、車の乗り降りのところは屋根が整備されるとあったが、エレベーターに乗るまでは屋根がないということか。

(駅まち)

当初の計画では、駅前の空間を最大限に広く確保したいという考え方で新しい駅舎との一体性を重視すると同時に、屋根を付けることにより全体の事業費が大きくなるため、屋根を付けていない。全体事業費が大きくなりすぎると、B/C(費用対効果)が出ない可能性がある。以上3点の理由で屋根を付けない計画となっている。

(副会長)

もし、車椅子の方がエレベーターを使う場合、雨に濡れてしまうかと思う。多少なりとも屋根に代わるものがあると良いかと思ったのだが、そういった観点から最終的な判断になったと理解した。

(駅まち)

まだ最終の判断ではない。これから議論していく。利用者の利便性や、バリアフリーの観点からも屋根がある方が良いというのは、十分認識している。全体事業費が大きくなりすぎると、B/C(費用対効果)が失われて補助が受けられないということになるため、事業費を検討しつつ、安全性や移動円滑化に必要な機能を優先して整備する方向性である。今後の実施設計についても、全体の整備費や維持管理費などを総合的に検討して可能であれば屋根の実施も整備していきたいと考えている。

(副会長)

エスカレーターの位置が少し全部離れているように感じる。エスカレーターを降りて少し距離があるということだが、位置が近いとエスカレーターが止まってしまった時に人の流れが止まってしまい、危険ということか。これからそのあたりは詰めていく予定か。

(駅まち)

エスカレーターの位置に関しては、中2階と2階の2段構造になっていて、地上を含めると2階まで一気に上がる場合10m以上となる。エスカレーターの脇には階段も整備する予定。10mを階段で上がるのは体力的に困難な方もいらっしゃるを考え、まずは中2階に階段・エスカレーターで上がってもらうことになった。中2階にたまり場をつくり、さらに中2階から2階に階段・エスカレーターで上がって頂く計画である。

(会長)

バス停から階段・エスカレーター、エレベーターに行くまでの、ルート中の点字ブロックをどこに整備するかだが、基本的にはバスシェルターの下に整備するイメージで良いか。最短ルートだと、広場を抜けていくとかなり近くなる。シェルターの下を歩いていくと、結構大回りさせられることになる。視覚障がい者の方の誘導をどう考えるかというところは少しあるかなと思う。広場の中を横切るとしても、点字ブロックを広場の中に整備できることはないが、床のデザインを少し工夫して、最短でエスカレーターやエレベーターにいけるデザインがあっても良いかと思う。

(駅まち)

誘導ブロックの敷設についてだが、基本的にはシェルター下に敷設する予定。広場の中を横断する形で最短距離で視覚障がい者などが通りやすくなるという意見は、実施設計で検討していければと思っている。会長からの意見を参考にしていきたいと思う。

(会長)

誘導点字ブロックを整備する場合、路面とのコントラストが問題になってくる。新しく整備する場合はブロック舗装が使われる。ブロック舗装は、アスファルトと違ってコントラストが取りづらい。よくあるのは点字ブロックの脇の5cmほどのところに黒い帯状のものを付けて、コントラストを付けるやり方である。詳細設計の際は路面と点字ブロックのコントラストに気を付けてほしい。

市民の方も来られているため、新しい駅のことなど1人ずつになるが意見を聞きたい。

(高友クラブ連合会)

広範囲で、同時に色々なことがなされていることは非常に感激している。バリアフリー全体の方針について感心している。

(自立支援協議会 しごと支援部会)

歩行者空間の確保・休憩施設の整備は、近鉄郡山駅周辺整備計画のバリアフリーに関する整備方針にもうたわれている。今も、障がい者の支援施設・事業所に就労支援で通われている方、電車やバスの利用者は多くいる。我々の各事業所も、駅周辺を見に行ったり誘導等をしたりするが、駅周辺での障がいのある方の安全の確保が一番大切である。歩行者動線と車道動線を明確に分けるということで、歩行者が歩きやすく更に車いすの方が1人で移動できる動線を考えてもらっているということか。

(駅まち)

安心安全を念頭に置いて、今後実施設計を進めていきたいと考えている。

(自立支援協議会 こども支援部会)

計画は大変素晴らしいが、予算の加減で一部削られてしまう可能性があることが気になる。私たちと障がい者の方の周りでは別のもので捉えてもらいたい。点字ブロックの誘導路を少し短縮するなど、更に検討して頂けるとバリアフリーにとって素晴らしいと思う。

(会長)

改札を出たところには屋根があり、ペDESTリアンデッキには屋根がないということか。

(駅まち)

駅舎に関しては、駅舎に庇があるので、改札を出たところは問題ない。ペDESTリアンデッキは、事業費を考慮した上で、検討していければと思う。

(自立支援協議会 居住支援部会)

今回この会議があるということで、部会の会員にも意見をもらっている。特定事業に関わる場所・関わらない場所含めて住民の方に身の回りで気づくことを教えてもらった。特定事業に関わるものだと、JR郡山駅前やりそな銀行から歩道に上がるところの傾斜がきつく、転倒の恐れがあるので、緩和してほしいという意見があった。また、郡山城の公園はきれいに整備していると思うが、少し車いすでは使いにくいところがあるので改善できるところがあれば良い。また、城ホールの駅前は特定事業に入っていなかったか。奈良交通のバスはノンステップバスになっているとのことだが、城ホールの前は高さが足りずノンステップバスの傾斜がきつくなっているため乗り降りが少ししづらいという意見も聞いている。特定事業の中で他のところも改善する時にはぜひ一緒に検討してもらいたい。特定事業の範囲ではないと思うが、外堀緑地のアーチの傾斜がきついという意見や、蘭町線の歩道が砂利状で凹凸が激しくなっているため、そのあたりを改善してもらいたいという意見があった。難しい意見だが、JR郡山と近鉄郡山の間は昔の土地で道幅が狭くなっている。車が通ると、車いすの方が寄らないと横には溝があつて脱輪しそうになるそう。制約はあると思うが、改善してもらいたい。また、駅前の新駅のことでは、asmoにはエレベーターはあつたが車いす対応のボタンがなく、苦労したという経験談があつた。多目的トイレの設置や、エレベーターは車いすの方が使いやすいパネルの設置をお願いしたい。asmoのように将来使いづらくならないように、費用的なところもあると思うが、長い目でみても使いやすいものであってほしいと思う。

(事務局)

特定事業の改定をする際にも、パブリックコメントで意見を出して頂いたが、今委員から頂いたJR郡山の西側のりそな銀行の傾斜がきついというのは今回反映することができ、特定事業計画P20の城廻り線の事業No.1で急勾配の解消を道路管理者が予定しているので、気長に待つて頂けたらと思う。その他の今回特定事業に設定できなかったところもあるが、見直し、改定の際に当事者の方との街歩きを踏まえて改善していけたらと考えている。

(会長)

ノンステップバスが乗りにくいというのは、歩道がフルフラットということか。

(事務局)

また現場を確認するが、城ホールの周辺であれば歩道の設置基準にならって整備されていると思うが、道路管理者に伝えて確認してもらう。

(自治連合会)

大和郡山市も大変住みやすく、利便性が良くなるということで喜んでいる。これから勉強して、少しでも役に立てるように考えている。また、資料のページ番号を記載して頂くと見やすい。資料2の県道の道路特定事業のP12の行で、新紺屋豆腐、の次の文字の蘭本線ではなく、蘭町線の間違いではないかと思われる。字も違っているので、気を付けてもらいたい。また、4枚目の災害時避難行動要支援者の啓発として、警察・消防・民生委員等に対して要支援者名簿の共有を行っているところがある。たいした問題ではないと思うが自治会でも共有をしているので、つけたしてもらいたい。他にも、P27の新しい駅舎の線の上に赤いマークがあり、その右隣に紫、その隣にブルー、その間に斜めの建物が入っている。このことがよく分からないので説明をお願いしたい。

(事務局)

ページ番号は次回以降改善していきたいと思う。誤字についても事前にしっかり確認する。

(駅まち)

おっしゃられているのはP27基本計画図の商業施設と書いている紫で囲ったところの横だと思うが、このマークは建物ではなくて、バスの印である。

(自立支援協議会 居住支援部会)

恐らくおっしゃっているのは、説明資料5 P1 計画図の階段やエスカレーターのところのことだと思う。

(駅まち)

おっしゃっている通り、階段とエスカレーターの絵になっている。また、広場の中に斜めに入っている線があると思う。これはただの模様で、このような模様にできたら良いなと考えている。また、先ほど、自立支援協議会の委員からasmoの話があったが、解体はほぼ終わりにかけている状態で今後大和リースにより、新しい施設の工事が始まる。心配されていたエレベーターも最新の機能が付いたものが設置されると思う。トイレも、オストメイトや大人用の介護ベッドを設置した形での整備予定だと聞いている。

(副会長)

10年以上委員をさせて頂いて、色々進み始めてきてすばらしいまちづくりだと思う。私が大和郡山市ですごくと思うのは、心のバリアフリーである。ノンステップバスがどれだけ出来ても母が1人で乗れなかったことに驚いた。段差がほとんどないように見えても、高齢者の方にとってはしんどい。ハード整備で全て真っ平にして何の障がいもないのは出来ないと思うので、最後のちょっとしたところで人の優しさが大事。ハード整備をしても完璧に安全だということはないことを知っておいてほしい。

(会長)

私からも、駅はこれから実施設計ということだが、できれば各障がい当事者の方に意見を聞きながら行うべきだと思う。作ってからやはりダメだったといっても、作り変えることができない。設計の段階で出てきた意見を聞いて、もし反映できることがあれば、反映していくと良い。弱視など視覚障がいのある方の見え方、インターホンがどこにあるか、トイレの位置が分かりやすいか、エレベーターの位置が分かりやすい案内サインになっているかなどは当事者しか分からないので、意見を聞きながら進めていくと良い。

(事務局)

たくさんのご意見を頂いたので、今後取り入れていきたいと考えている。事業者の方も、色々な制約がある中で、着実に事業を実施されていることに感謝している。今後も、バリアフリーへの取り組みをお願いしたい。本日の会議については、市のホームページに掲載させてもらう。活発な意見を今後もお聞きしたいので、協力をお願いしたい。

以上